



東北大学グローバルCOE

Network Medicine

創生拠点

NM高等教育セミナー

藤井 潤 博士

(九州大学大学院医学研究院 細菌学分野・准教授)

腸管出血性大腸菌感染症の現状問題 -わが国でのユッケによるO111食中毒とドイツでの O104大規模集団感染から-

2011年8月10日(水) 15時-16時00分
医学部5号館201号室

本年、焼き肉チェーン店が提供したユッケを原因とする腸管出血性大腸菌O111の広域食中毒事件において全国で4名の尊い命が奪われた。この事件で富山県での食中毒患者数は163名にも上り、28名が溶血性尿毒症症候群(HUS)を発症し、3名が死亡、9名が脳症を併発し今もなお入院中である。この事件を契機に厚労省は、新たに牛肉の生食を提供する際の罰則規定のある衛生基準を設ける方針を打ち出した。さらに厚労省は牛の生レバーは腸管出血性大腸菌の危険性に加え、トリミング処理しても肝臓に潜んでいるカンピロバクターを完全に排除することができないため、原則禁止の方針を打ち出している。本年5月～6月にドイツ北部を含む周辺16カ国に及んだ腸管出血性大腸菌O104:H4の大規模集団感染は、患者数が3941人にも及び、うち909名(23%)が溶血性尿毒症症候群を発症し、52名が死亡したことが報告された。患者から検出されたO104:H4は基質特異性拡張型--ラクタマーゼ(ESBL)を有しており多剤耐性菌であった。わが国とヨーロッパで猛威を振るった腸管出血性大腸菌感染症の現状の問題点を考え、今後、この感染症に対して、どのような対策を立てるべきかについて提案する。

参考文献

1. 藤井 潤:朝日新聞朝刊 私の視点「食の安全 牛レバーの生食、危険伝えよ」
2008年8月22日
2. 藤井 潤: ペロ毒素に関する新たな知見, 化学療法の領域 25(5):39-48, 2009
3. 藤井 潤: 朝日新聞朝刊 私の視点「肉の生食は悪しき習慣」 2011年6月3日

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 出澤 真理(細胞組織学分野)
問い合わせ先: 内線8026